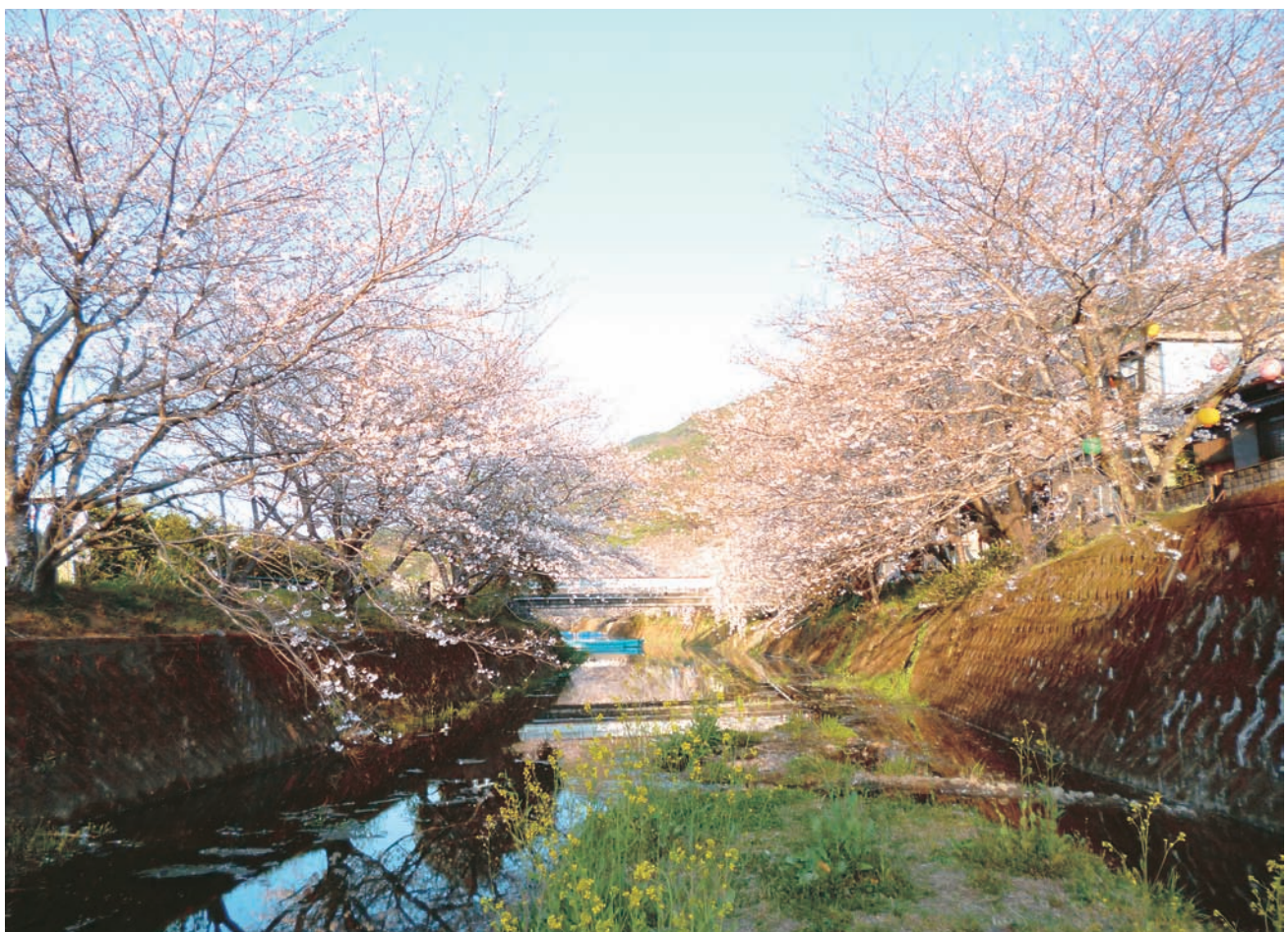




2011
春号
No.62

発行 徳島市かちどき橋1丁目41番地 TEL 088-622-8158 FAX 088-626-5411
URL : <http://www.toku-forest.com/> E-mail : info@toku-forest.com



勝浦町



Contents

林業見学・交流ツアーの開催 2
 農商工連携等人材育成事業【研修実績】 3
 森林の仕事ガイダンス及び徳島県林業就業相談会の開催について ... 4～5
 先進優良事業体視察研修（石川県：かが森林組合） 6
 平成22年度徳島県林業労働力育成協議会 7

林業見学・交流ツアーの開催

開催日：平成22年11月13～14日／開催場所：美馬森林組合管内

当連合会は、全国森林組合連合会から委託を受け、美馬森林組合の全面協力のもと林業職場見学会を開催しました。

当日は、一般から応募のあった28名が神戸市役所前に朝9時に集合し、大型バスで美馬市へ移動したほか、2名が徳島駅から現地に向かいました。

美馬市の現地に到着してから、参加者は持参した弁当を食べた後、美馬森林組合の職員と作業班の指導の下、手鋸で枝打ちと間伐の作業を半日体験しました。

その日の作業を終えた後、美馬市の四国三郎の郷へ移動し、美馬森林組合の役職員、作業班員、全森連と本会職員も参加し、バーベキューを食べながらの交流会を開催しました。

2日目は、午前中美馬森林組合の高性能林業機械による搬出間伐を見学し、午後から閉会式を行い、その後バスにて帰路につきました。

参加者は、10代から60代まで全年齢にわたり、女性も2名参加されていました。今回多くの方の参加動機については、林業への就業希望より、林業についてもっと知りたいという理由の方が多く、夕食時の交流会は大変好評でした。

全国森組連合会は毎年この林業見学・交流会を各地で行っており、本県も平成20・21年度は日帰りの体験林業を板野郡森林組合の協力のもと実施しました。

1泊2日の受入は準備等大変ですが、参加者にとっては非常に有意義なツアーとなったようです。



開講式



枝打ち、間伐体験



交流会



高性能林業機械見学

農商工連携等人材育成事業【研修実績】

当連合会では、昨年度に引き続き全国中小企業団体中央会の公募事業であります「農商工連携等人材育成事業」の採択を受け、那賀地域における林業・木材産業を担う人材の育成研修を行って参りました。

この研修の目的は、新たな社会情勢の変化に伴って「林業飛躍プロジェクト」を更に加速強化するために、林業をコーディネートする人材の育成と新規参入者サポート、需要拡大のために必要な講義研修や実地研修を行う事であります。

今年度の研修には、林業関係者・建設業関係者併せて69名の参加をいただき、13日間の研修で延べ167名が下記カリキュラムを受講されました。

また、昨年度より当該事業を通じて建設業の林業参入を支援してきた結果、昨年11月に那賀町の建設業者11社が出資し、林業事業体としてフォレストワーク協同組合が設立され、林業参入を果たしたところであります。

その他、「実施体制の構築」では来年度以降の取組が急がれている施業集約化計画についての講義を繰り返し実施したほか、小面積皆伐地において新型タワーヤダを使用した実証と検証を行い、大変高い検証結果が得られるなど、一定の成果を挙げることができました。



【研修実績】

開催日	研修項目	時間		研修項目	研修場所
8月19日	講義研修	8:50~10:20	90分	農商工連携の意義とねらい	相生建設業(協)
		10:30~12:00	90分	林業の動向と課題及び農商工連携	
		13:00~14:30	90分	労働力の現状と集約化	
		14:40~16:10	90分	他産業の林業参入と林材業の現状	
8月20日	ロールプレイング 及び講義研修	9:00~12:00	180分	ワークショップ研修	ふるさと交流館
		13:00~14:30	90分	境界確定作業	
		14:40~16:10	90分	実施体制の構築	
8月27日	講義研修	9:00~12:00	180分	林産物流の構造	相生建設業(協)
		13:00~16:00	180分	中小企業経営	
9月27日	講義研修	9:00~12:00	180分	林業の労働安全	相生建設業(協)
		13:00~14:30	90分	機械の構造と操作(タワーヤダの構造と操作)	
		14:40~16:10	90分	架線集材の基本	
10月22日	ロールプレイング 及び講義研修	9:00~12:00	180分	ワークショップ研修	相生建設業(協)
		13:00~14:30	90分	実施体制の構築	
		14:40~16:10	90分	作業道路網計画	
10月23日	実地研修	9:00~16:00	360分	作業道の開設技術	那賀町現場
10月26日	実地研修	13:30~16:30	180分	架線集材の実務(タワーヤダによる実践作業)	那賀町現場
12月3日	講義研修	9:00~12:00	180分	架線の基本設計(タワーヤダの検証結果)	相生建設業(協)
		13:00~16:00	180分	架線の基本設計(ワイヤープライスと安定計算)	
12月17日	ロールプレイング 及び講義研修	9:00~12:00	180分	ワークショップ研修	相生建設業(協)
		13:00~16:00	180分	実施体制の構築	
1月19日	ロールプレイング 及び講義研修	9:00~12:00	180分	ワークショップ研修	相生建設業(協)
		13:00~16:00	180分	実施体制の構築	
1月24日~26日	実地研修	9:00~16:00	1,080分	機械の適正な操作(3点セット等操作研修)	那賀町現場
			4,500分		

森林の仕事ガイダンス

大阪市・梅田スカイビル【平成22年11月19日～20日】



（財）徳島県林業労働力確保支援センターでは、林業就業相談会等を通じて相談を受けた林業就業希望者の方々を林業事業体にご紹介し、これまでに46名の方が就職されております。その内22名が近畿圏からのUIターン者ということもあり、近畿圏で開催される就業相談会等には積極的に参加しております。

今回開催された「森林の仕事ガイダンス（大阪会場）」には毎年参加しておりますが、今年度は広告費の大幅な削減などがあり、来場者数は会場全体で見ても昨年度の10分の1程度という結果となりました。徳島県ブースにおいても例外ではなく、昨年度は2日間で28名の就業希望者が相談にこられました。今年度は2日間で7名という結果になりました。

しかし、全森連が実施したアンケートでは①就業してみたい②選択肢の一つとして検討、の合計が昨年を大きく上回る80%となっており、相談者の林業就業に対する熱意は非常に高いことが伺えました。

また、県・担当者をはじめ林業事業体の職員や緑の研修生にも同行していただき、徳島県における林業の現状や体験談などを熱心にアドバイスしていただきました。



◇来場者データ（徳島県ブース）◇

【相談者数：7名】

居住地別	(名)	出身地別	(名)	UIJ別	(名)	その他	(名)
近 畿	7	近 畿	5	Uターン	1	既 婚	2
東 海	—	東 海	1	Iターン	6	未 婚	5
徳 島	—	徳 島	1	Jターン	—	男 性	7
計	7	計	7	計	7	平均年齢	42.4歳

徳島県林業就業相談会

徳島市・ホテルクレメント徳島【平成22年12月5日】

平成22年12月5日徳島市「ホテルクレメント徳島」において平成22年度徳島県林業就業相談会が開催されました。今回の相談会開催にあたり各森林組合に参加要請を行ったところ、6組合の参加をいただき、各組合ブースにおいて総勢6名の林業就業希望者の相談に対応していただきました。

相談者の中には、遠方の長野県よりお越しの方や、先に行われた森林の仕事ガイダンスに続き2名の参加があるなど、有意義な相談会となりました。

また、美馬森林組合の作業班長でありIターン経験者でもある吉田英記・真理子夫妻に参加いただき、Iターン就職した経緯や体験談などを発表していただきました。



相談会の様子



吉田夫妻による体験発表

◇ 来 場 者 デ ー タ ◇

【相談者数：6名】

	年齢	性別	居住地	職業	相談先森林組合						相談 件数
					阿南市	木頭	徳島中央	板野郡	阿波麻植	美馬	
1	21	女	岡山県	大学生	○	○	○				3件
2	33	男	徳島県	求職中			○				1件
3	35	男	大阪府	造園業	○			○	○	○	4件
4	43	男	大阪府	求職中	○	○					2件
5	34	男	長野県	アルバイト		○	○		○	○	4件
6	18	男	徳島県	高校生		○					1件
平均年齢：30.7歳				計	3名	4名	3名	1名	2名	2名	15件

林退共は、林野庁がすすめる緑の雇用などによる新たな
林業の担い手の確保を応援しています。

林業退職金共済制度
林々とした若い力を

お問い合わせは
徳島県森林組合連合会 (088-622-8158) まで

退共本部HP → <http://www.rintaikyo.taisyokukin.go.jp>

先進優良事業体視察研修



かが森林組合（石川県小松市）



（財）徳島県林業労働力確保支援センターは地域林業雇用改善促進事業の一環として、平成22年11月30日に石川県小松市のかが森林組合への視察研修を実施しました。

当日は県下6事業体10名が、かが森林組合那谷工場を訪問し、有川組合長はじめ清水専務、出崎工場長が懇切丁寧に対応していただきました。

かが森林組合は石川県南西部の2市2町の4森林組合が平成12年4月に広域合併し、その後平成19年4月に隣接する白山森林組合と広域合併し、石川県で最大規模の森林組合となりました。

「かが森林組合」の最大の特徴は「林産組合長制度」を取り入れていることです。「林産組合長制度」とは組合管内の各町内を単位とした組合員組織で、林産組合長は6,615人の組合員の要望の取りまとめや、組合事業の普及など組合とのパイプを担っています。林産組合の数は現在189組合あり、かが森林組合の「地域ぐるみの森林管理」を支える原動力となっています。

また、かが森林組合は平成17年5月、林産組合長制度を活用して組合員の約8割の参加によるFSC(森林管理協議会)グループ認証を取得しています。

さらに、月給制の直営作業班については平成17年以降順次廃止し、作業班を組合から分離させ、事業を委託する形態を取ることにより作業能率を向上させ、また森林組合の社会保険料の軽減にもなっているとのことでした。



（財）徳島県林業労働力確保支援センター

平成22年度

徳島県林業労働力育成協議会

と き 平成23年 3月 8日 午前10時30分～

ところ 徳島グランヴィリオホテル

平成23年 3月 8日（火）徳島グランヴィリオホテルにおいて『平成22年度林業労働力育成協議会』が開催されました。

今回の協議会には、徳島森林管理署をはじめ県林業飛躍プロジェクト推進室・(社)徳島県林業公社・(独)森林総研徳島水源林整備事務所・各林業事業体（13事業体）に委員としてお集まりいただき次の議題について協議しました。

- (1) 森林の仕事ガイダンス及び徳島県林業就業相談会の開催について（報告）
- (2) 平成23年度「緑の雇用」現場技能者育成対策事業について
- (3) 林業労働力の確保の促進に関する基本計画について
- (4) その他

議題(1)については、平成22年11月19日～20日に大阪市「梅田スカイビル」で開催された森林の仕事ガイダンス及び平成22年12月5日に徳島市「ホテルクレメント徳島」で開催された徳島県林業就業相談会における相談件数や相談内容等の報告となっており、議題(2)については、平成23年度より従来の緑の雇用対策事業が装いを新たに「緑の雇用」現場技能者育成対策事業となるため、現行事業との変更点や追加項目等について説明が行われました。また、議題(3)については平成8年7月に策定されて以降、変更が行われていない「林業労働力の確保の促進に関する基本方針」の変更が予定されており、変更の概要等について、県・林業飛躍プロジェクト推進室より説明がなされ、これらについて協議した結果、参加委員全員の承認をいただきました。



●●● 支援センターへのお問い合わせについて ●●●



支援センターHPでは、就業相談会等の開催情報の掲示やアンケートを実施しています。

ご意見・ご感想をお待ちしております！

<http://www3.ocn.ne.jp/~forester/>
E-mail : forester@orion.ocn.ne.jp



ご存知ですか。 今も続いている 同和問題。

同和問題＝人権侵害とは、なに？

今から400年ほど前、全国統一を果たした江戸幕府は体制維持のため「士・農・工・商」の身分制度を定め、その下に「えた、ひにん」という身分を設けました。大多数にとって厳しく不満の絶えない暮らしにあって、幕府は「自分たちよりひどい暮らしの人間もいるのだ」と仕向けることで不満をそらそうとしました。そのような人達が強制的に住まわされたところを被差別部落、また同和地区と言います。ここに同和問題のはじまりがあるとされています。

こんな差別がまだ残っています。

結婚にみられる差別

結婚は男女ふたりの意志のみによるもの。しかし実際には、縁談の相手の身元を調べたり、子供の結婚相手が同和地区の人とわかると反対するなど、同和地区の人々に対する結婚差別が残っています。

就職にかかわる差別

採用は、本人の仕事への適性や能力のみで決められるべきもの。しかし本籍地や家族の職業などを履歴書に書かせたり、面接の際に聞いたりして採否を決めるなど、同和地区の人々に対する就職差別が残っています。

**全国森林組合連合会
人権問題啓発推進事業**